

会報

秋

No.155

2011.10

社団法人北海道電業協会



目 次

環境に配慮した基盤の整備 北海道建設部建築局建築整備課 ……………設備・環境担当課長 郷 康 則…	1
法人職務執行者就任ご挨拶 ……………(株)ドウデン 代表取締役社長 小笠原 憲 生…	2
……………東邦電気工業(株) 北海道支店長 松 浦 重 男…	2
……………(株)三新 代表取締役社長 渡 辺 修…	3
……………北都電機(株) 代表取締役社長 松 本 満…	3
平成23年度札幌市電気設備施工研修会……………	4
平成23年度北海道の建築工事に係る合同研修会……………	5
北海道開発局営繕部と電気・空衛両協会との意見交換会……………	6
平成23年度登録電気工事基幹技能者特例講習会……………	7
技術系学校先生との現場見学会・懇談会……………	8
技術系学校生徒との現場見学会……………	9
ーシリーズー 1 / 212だより ・鐘のなるまち～ちっぷべつ ……………秩父別町長 神 藪 武…	10～11
・摩周湖といで湯のロマン～弟子屈町 ……………弟子屈町長 徳 永 哲 雄…	12～13
現場からこんにちは……………	14
1級（実地）電気工事施工管理技術検定試験受験準備講習会……………	15
厚生委員会行事報告 野球部会 活動報告……………	16～17
平成23年度第1回・2回開催ボウリング部会報告……………	18～19
平成23年度第3回・4回ゴルフ部会コンペ成績……………	20
業界だより、理事会・三役会・委員会報告……………	21～23
事務局日誌……………	24
編集後記	



環境に配慮した基盤の整備

北海道建設部建築局建築整備課

設備・環境担当課長 郷 康 則

日頃から、(社)北海道電業協会の皆様には北海道の営繕行政の推進にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

私は今年6月に、建築整備課設備・環境担当課長に就任しました、郷です。これまでの設備工事という視点から、環境という幅広い視点の取組を意識するとともに、道有施設の環境対策推進のための方針策定に取り組んで参りますので、よろしくをお願いします。

さて、道内においては長期の景気低迷が続く中、3月11日には東北地方太平洋沖地震が発生し、津波による甚大な被害や福島県の原子力発電所の事故など、想像をはるかに超えた事態にさらされています。被災者の皆様には心よりご冥福並びにお見舞いを申し上げます。

地震発生から半年以上たった今、復旧、復興に向けての作業が進められているところですが、被災地でのインフラ復旧に向けては、電気関係業界も背水の陣で活躍されていると聞いております。

本道においては、漁業関係に被害が集中し、また、観光産業にも大きな影響が生じているところではありますが、道としてもその対応に万全を期し取り組んでおり、建築局としても営繕技術職員の派遣を実施し、被災地への支援を行うとともに、建築工事の早期発注や地域別も考慮して建築資材供給状況の把握と情報提供を行う等の東日本大震災の影響を考慮した取組を行っているところです。

建築局では、道立施設の整備にあたり、「時の経過とともに価値の増す公共建築物の整備」を基本理念とし、多様なニーズや地域特性に対応するとともに、計画的な修繕、更新によるファシリティ

マネジメントの考え方を踏まえた長寿命化やライフサイクルコストの削減に向けた取組を行っています。

道発注の公共工事等の入札契約制度については、工事情報の適切な提供、工事施工の品質確保を適正に図るため、価格のみの競争ではなく、施工実績や施工体制などの技術力も併せて評価しながら、公正な競争の促進や適正な施工の確保ができるよう、努力をしているところです。また、建設業を取り巻く厳しい環境を踏まえ、地域社会の維持に不可欠な役割を担っている地域建設業の経営環境に十分配慮しながら実情に応じた適切な地域要件を設定するなどして、中小企業者等の受注機会の確保、拡大にも努めていかなければならないと考えております。

知事が公約として掲げた政策を着実に実施していくための「新生北海道戦略推進プラン」に基づき、高等盲学校と札幌盲学校を移転統合し、有明高校移転跡地に全道の視覚障がい教育の拠点となる特別支援学校の整備に着手したところであります。建築局としても今年度から試行している、環境配慮に対する意欲と技術力も評価する仕組みである、設計委託での建築および設備設計事務所による共同提案型プロポーザル方式により、環境対策に取り組んでいます。このように営繕に求められる環境対策の知識や技術が、高度化、多様化していくものと考えており、これまでも増して電気設備業界における皆様のお力が必要となっている現状にあります。

最後に、貴協会のますますのご発展と会員皆様のご活躍、ご健勝を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

法人職務執行者就任ご挨拶



(株)ドウデン
代表取締役社長

小笠原 憲 生

秋空の候、会員の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

私はこの度、6月27日付をもちまして前鷹背社長の後任として就任いたしました小笠原憲生でございます。平素は当協会並びに会員各位には大変お世話になっております。心より厚く御礼申し上げます。若輩者でございますが、皆様のご指導ご鞭撻を賜り、業界、及び協会の発展に尽くす所存でございますので、よろしくお願い申し上げます。

私は、札幌にて昭和27年に生まれました。昭和52年に旧国鉄に入社し、主に東京関東付近にて勤務いたしました。国鉄本社には環境保全部、技術

開発室にて勤務し、浮上式鉄道開発の主任部員として宮崎の実験線との往復（勿論、新幹線・夜行寝台）を10数回いたしたでしょうか？

国鉄の民営分割時前に故郷北海道に戻り、以降25年経過いたしました。この間、函館勤務が平成元年から4年間、更に平成17年から5年間、計9年を数え、函館は第2の故郷となっています。平成21年度は函館観光コンベンション協会の副会長をさせていただいたご縁で、離函時に『函館観光大使』をさらに、今年で24回目を迎える函館野外劇の『函館野外劇大使』を仰せつかっています。

皆様!! 函館をよろしく願ひいたします。

昨今、業界と弊社を取り巻く環境は誠に厳しいものを感じますが、一步一步着実に歩むことを第一に取り組んでまいりたいと考えております。

最後になりますが北海道電業協会のますますの発展と会員各位のご繁栄とご健勝を祈念申し上げ新任の挨拶とさせていただきます。



東邦電気工業(株)
北海道支店長

松 浦 重 男

初秋の候、会員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

私はこの度、6月15日付けで前北海道支店長紺井 俊一の後任として就任致しました松浦重男でございます。平素より当協会ならびに会員の皆様には大変お世話になり、心より厚く御礼申し上げます。また、皆様のご指導、ご鞭撻を頂きながら協会、業界に最善を尽くす所存でございますので、前任者同様よろしくお願い申し上げます。

この機会をお借りしまして当社の紹介をさせていただきます。

当社は昭和24年に「東邦通信工業(株)」として創立以来、通信用ガスケーブル工事を主体としてき

ましたが昭和30年に電気工事の全分野を施工できるように体制を拡大して、社名を現在の「東邦電気工業(株)」と改称しました。その後旧国鉄の電化工事、一般ビル等の電気工事、計装工事を実施してきました。また創業の礎である情報通信分野では、昭和60年代初頭から技術革新の進展に伴い電気通信事業者関連の光ファイバーケーブルや移動体通信工事、ネットワーク構築工事等に参入し現在に至っております。

私個人のこととなりますが昭和45年に北海道支店に入社し、昭和62年に埼玉県熊谷市に転勤その後神奈川県川崎市、東京都渋谷区と異動になり24年ぶりに北海道支店に戻ってまいりました。

全国的に景気低迷が続いています。特に北海道の環境は厳しい状態ではありますが、前向きに取り組んで行きたいと思っております。

最後になりますが、当協会の益々のご発展と会員皆様のご清栄とご健勝を祈念申し上げ新任の挨拶とさせていただきます。

法人職務執行者就任ご挨拶



(株)三新
代表取締役社長

渡 辺 修

爽秋の候、会員の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度、前代表取締役社長 乙村元夫の後任として就任しました 渡辺 修でございます。平素より、当協会ならびに会員の皆様には大変お世話になり、心から厚く御礼申し上げます。若輩者ではありますが、皆様のご指導ご鞭撻を頂き、業界及び協会の発展に尽くす所存でございますので、何卒宜しくお願い致します。

この機会をお借りしまして当社の紹介をさせていただきます。当社は昭和36年7月三新工業株式会社の社名で電気工事会社として設立しました。その後、通信工事や放送サービスへも手を広げ、昭和

61年、創立25周年を期して社名を株式会社 三新と改め、電機事業部、通信事業部、情報事業部の3部門を業務の柱とし、現在に至っております。

電機事業部では、受変電設備の施工・保守やマンション、ビル工場の電気設備の施工及び消防設備の施工・保守など、また、通信事業部では、通信・放送機器の設置・保守、情報通信システム（光ケーブル、LAN等）の施工・保守を手掛け、情報事業部では、テレビ番組やCMの制作から各種イベントの企画・運営まで幅広く事業を展開しております。

残念ながら、どの事業部門もなかなか明るい日差しが見えぬ昨今ではありますが、北海道に少しでも明るさを取り戻していただければとの思いで社業を努めてまいります。今後ともよろしく願います。

最後になりましたが、協会の益々の発展と会員皆様のご繁栄とご健勝を祈念申し上げ、新任の挨拶とさせていただきます。



北都電機(株)
代表取締役社長

松 本 満

初秋の候、会員の皆様におかれましては、益々ご清栄こととお慶び申し上げます。

このたび、前社長川野辺弘文の後任として6月27日の株主総会で選任されました松本満でございます。

平素は電業協会並びに会員の皆様には大変お世話になり、心より厚くお礼を申し上げます。前任者同様よろしくお願い申し上げます。

当社は昭和13年に札幌市で創立されて以来、70年を越えました。

その間、室蘭、東京、名古屋、大分各地に拠点を拡大し、製鉄電気設備の建設及びメンテナン

ス、発電設備の建設及びメンテナンス、更に制御システムエンジニアリング、環境監視システムまで事業を展開する総合エンジニアリング会社に成長しました。

平成17年以降、太平工業のグループ会社として、新日鐵グループ企業の一員として、一層の発展を目指しています。

さて、東日本大震災から半年が過ぎようとしていますが、復興はまだまだ多くの時間と手間がかかる状態です。当社も被災地のお客様から電動機等の修理の依頼を頂いており、1日も早い復興のお役にたつように最優先で対応していきます。

最後になりますが、当協会の益々のご発展と会員の皆様のご繁栄とご健勝を祈念申し上げ、新任の挨拶とさせていただきます。

平成23年度 札幌市電気設備施工研修会



平成23年7月20日(水)午後1時30分から北海道電気会館において、当協会と札幌電設業協会共催による「札幌市電気設備施工研修会」を開催し、現場責任者など約140名が参加した。

今回で28回目となるこの研修会は、札幌市から担当者をお招きし、施工上の留意点や事前に提出していた質問・要望事項について説明された。

最初に、市建築部の日當電気設備課長から、今年度の発注状況について説明があり「発注予定工事の半数以上が発注済みで、現在までに60件以上が入札まで終了している。上白石小・中学校など学校の改修工事では夏休み中に工事の最盛期を迎えるので安全作業を心がけて欲しい」と要請された。

また、市財政局工事管理室の吉田係長からは、2010年度の電気工事成績評定の結果を挙げ、平均点は75.6点で前年度に比べ0.05点上昇。特に半数以上の工事が75点から79点の範囲に入っており、昨年度と比較すると総じて高くなっている。など「年を追うごとに施工管理が良くなってきている。みなさんの日頃の努力によるもの」と、各社の技術力の向上について評価された。

続いて、各社が事前に提出していた質問事項に対する回答、検査結果に対しての報告、講評などがあった。

【研修内容】

1. 札幌市発注電気設備工事に関する講話



日當 電気設備課長

2. 電気設備工事に関する留意事項および会員からの質問・要望に対する回答
3. 工事監理室から
 - ・会員の質問・要望に対する回答
 - ・電気設備工事の成績評定結果
 - ・請負工事成績評定容量の改正点
4. 電気設備課より工事提出書類の見直し

【講師】

札幌市都市局建築部電気設備課

課長 日當 雅博 様

電気一係長 中村 範仁 様

電気二係長 太田 雅之 様

札幌市財政局管財部工事管理室

電気検査担当係長 吉田 匡雄 様

〃 山本 裕之 様

平成23年度 北海道の建築工事に係る合同研修会



当協会と北海道電気工事業工業組合、(社)北海道空調衛生工事業協会、北海道管工事業協同組合連合会との4団体共催で、平成23年7月4日(月)北海道電気会館において、北海道建設部建築局幹部の方々のご出席を頂き「平成23年度北海道の建築工事に係る合同研修会」を開催。全道から4団体役員等、約100名が出席した。

最初に主催者を代表して(社)北海道空調衛生工事業協会の池田会長から、業界を取り巻く厳しい環境を説明。今後の取り組みとして「地球環境問題への対応や技術力強化に努め、次代につながる公共設備の整備に尽力しなければならない」と挨拶された。

続いて、郷課長から「建築局では多様なニーズや地域特性に対応するとともに、建物の長寿命化や環境への配慮等を目標に取り組んでいる。厳しい経済情勢にあるが、今度とも快適な建物づくりを通じて地域の活性化と業界の発展のため、それぞれの分野で力を発揮していただきたい」と挨拶された。

引き続き、各事業担当者から道の取組み状況など、資料に基づき説明された。

研修後の質疑応答では、業界側からあらかじめ提出された質問・要望について同局は、分離発注の継続や防災協定の締結などについて前向きな姿勢を示していただいた。

研修会次第

1. 開会挨拶 (社)北海道空調衛生工事業協会
会長 池田 薫
2. ご挨拶 北海道建設部建築局建築整備課
設備・環境担当課長 郷 康則 様



ご挨拶 郷 設備・環境担当課長

3. 研修内容

- (1)入札制度について
計画管理課管理契約G 主査 木村 剛 様
- (2)総合評価方式について
計画管理課営繕企画G 主任 梅田 竜也 様
- (3)平成22年度工事評定結果について
計画管理課建築技術G 主査 島田 信喜 様
- (4)質疑応答

4. 閉会挨拶 (社)北海道電業協会

副会長 中野 章



閉会挨拶 中野副会長

北海道開発局営繕部と電気・空衛両協会との意見交換会



平成23年9月13日(火)15時から北海道設備会館において、当協会と(社)北海道空調衛生工事業協会との共催（電気・空衛連絡協議会）で、北海道開発局営繕部内野井部長をはじめ、幹部の方々のご出席をいただき意見交換会を実施した。当協会からは吉川会長をはじめ13名、空衛協会からは池田会長をはじめ12名が出席した。

営繕部からは、官庁施設の環境保全性基準の統一、総合評価方式、積算動向などについて説明された。協会からは工事量の確保、分離発注の継続など4項目の要望と、震災、防災に関する課題など2項目の質問を提示し、それぞれに回答いただいた。



ご挨拶 北海道開発局 内野井 宗哉 営繕部長

【議 題】

1. 平成23年度開発局営繕事業概要
2. 「官庁施設の環境保全性基準」の統一基準化について
3. 積算の動向について
4. 工事の入札契約について
5. 総合評価落札方式について
6. 公共建築の日フェスティバルについて
7. 両協会からの事業取り組み状況
8. 両協会の要望・質問事項について
9. その他、質疑及び意見交換

【出席者】

○北海道開発局営繕部

部 長	内野井 宗哉 様
営繕管理課長	松田 春美 様
営繕整備課長	山本 英史 様
技術・評価課長	塚野 和臣 様
営繕品質調査官	鳥井 重弘 様
設備技術対策官	高井 真一 様
技術・評価課課長補佐	山本 宏 様
営繕整備課 課長補佐	武田 泰幸 様
営繕整備課 課長補佐	永井 宏明 様
営繕品質調査官補佐	開澤 正明 様
事業振興部 工事評価管理官	田村 桂一 様

平成23年度 登録電気工事基幹技能者特例講習会



(一社) 日本電設工業協会北海道支部主催による登録電気工事基幹技能者特例講習会を、平成23年8月26日(金)に北海道電気会館において開催し、全道各地区から31名が受講。

この講習会は、平成19年より以前に電気工事統括技士および電気工事基幹技能者の資格を取得した人が、平成21年度より実施される経営事項審査で加点評価されるための特例講習会で平成20年度から平成24年度までの5年間実施される。

(一社) 日本電設工業協会では、平成10年度から国土交通省が提唱する「基幹技能者の確保・育成・活用に関する基本方針」を踏まえ、いち早く電気工事基幹技能者認定講習会を実施し、平成19年度以前までの旧制度における認定者は全国で10,779名、このうち道内では431名、平成20年度



開会挨拶 岡竹技術安全委員長

からの新制度での認定者数は全国で4,865名、道内では270名となっている。

初めに、当協会の岡竹技術安全委員長から、特例講習会の開催経緯について説明。さらに

「高い能力を持った基幹技能者としての役割を認識し、現場で有効に反映させて欲しい」と挨拶された。

講習会では、当協会技術安全委員会のベテラン委員4名が講師となり、登録電気工事基幹技能者特例講習テキストに基づき講習プログラムに沿った講義が行われた。

【講習内容・講師】

1. 開会挨拶 (社)北海道電業協会技術安全委員会
技術安全委員長 岡竹 俊和
(株)きんでん北海道支社長
2. 建設技術者の労働環境
電気工事基幹技能者のあり方
関連法規
今野 正章氏
北海電気工事(株)電設工事部長代理
3. 基幹技能者の現場実務 1
吉崎 敏明氏
拓北電業(株)取締役営業本部長
4. 基幹技能者の現場実務 2
小川 恒明氏
協信電気工業(株)営業部長
5. 電気工事専門部門の現場管理
内山 優氏
(株)北弘電社技術部 担当部長

技術系学校先生との現場見学・懇談会



平成23年7月26日(火)当協会および(一社)日本電設工業会北海道支部共催による技術系学校の先生との現場見学・懇談会を開催した。

電業協会と技術系学校相互の現状認識の把握と業界への意見、要望を聞くため毎年行っている。

今回は専門学校3校、高校8校から13名の先生が出席。協会からは中野副会長をはじめ8名が出席した。

今回の見学現場は札幌ドーム太陽光発電設備で、この工事は、札幌市が地球温暖化対策として新エネルギーの導入を進めるための事業で、平成23年2月に完成。札幌ドーム敷地内に太陽光パネルや支柱を設置し、ドーム内にデータ収集装置、表示装置などが設置されている。

見学前に(株)北弘電社の渡辺丈朋現場代理人から工事概要の説明後、現場へ向かった。

見学会終了後、同会議室において懇談会を実施した。開会にあたり中野副会長から、最近の建設業界を取り巻く厳しい環境や団塊世代の大量退職といった現状を説明。今後は地球温暖化に対応するため「省エネルギー・新エネルギー需要や既存設備のリニューアルなどの急拡大が予想されるので、これら新たなビジネスチャンスに対応するため、人材確保や育成は業界として重要である。これからも優秀な人材を当協会に送り込んでいただきたい」と挨拶された。

懇談に入り、協会から事業内容の説明があり、続いて道内の技術系学校を対象に毎年調査してい

る「平成23年3月卒業生の就職状況」及び「平成23年度技術安全基礎教育講習会」の実施結果を報告。さらに、今年度から(一社)日本電設工業協会で新設した「インターンシップ推進助成金制度」について説明した。

学校側からは「資格を持っていても、なかなか就職に結びつかず、電気の生徒でありながら電気関係の仕事に就ける機会が少ない」「道内企業からの求人票が出るのが遅い」「就職は道内志向が強く、優秀な人材を道内に残したいが、道内企業の求人が少ないため道外企業に就職してしまう」などの意見要望があった。

当日の参加校、札幌科学技術専門学校、日本工学院北海道専門学校、北海道能力開発大学校、旭川工業高等専門学校、函館工業、旭川工業、札幌工業、小樽工業、富良野緑峰高校、札幌琴似工業、美唄工業



技術系学校生徒との現場見学会



平成23年8月2日(火)当協会および(一社)日本電設工業会北海道支部共催による技術系学校生徒との現場見学会を開催した。当日の参加者は札幌科学技術専門学校、北海道職業能力開発大学校、札幌工業高校の先生3名、学生14名が出席。協会からは加藤総務委員長をはじめ7名が出席した。

今回の見学現場は平成23年2月に完成した札幌ドーム太陽光発電設備で、見学前に(株)北弘電社の渡辺丈朋現場代理人から工事概要の説明後、現場へ向かった。

最初に電気室に向かい、太陽光パネルで発生した直流電力をインバーターで交流電力に変換する仕組みを説明。次に札幌ドーム南側羊が丘通り沿いに設置された太陽光パネルへ移動。札幌市の施設としては初めて90度の傾斜角度を採用、横に並べたパネルは432枚で全長は326mにわたっており、架台に日射計、気温系が設置されていた。

続いてドーム西1ゲート前に設置されている42インチの大型ディスプレイに移動。ここでは、太陽光発電電力、一日の積算電力量、二酸化炭素排出削減相当量、発電電力量、日射速度、外気温度などが表示される。

発電量は年間で約61,000kWh見込んでいるが、パネルの傾斜角度が90度で、夏場は日が高いため効率が悪く、太陽電池設備容量90kWに対し、当日の発電量は15kWの表示で意外と少なかった。

午後からの懇談会では、事務局から事業内容な

どの概要説明があり、つづいて澤田技術安全副委員長から、資格取得試験などについて説明があった。特に、国家試験の資格取得は自分のためになる事なので、積極的に取り組むように推奨した。

同行された先生からは、学校の授業では体験できない現場の最先端設備に触れる事ができて大変勉強になった。学生たちにとっては大変有意義なので今後も継続して欲しいと要望された。

生徒から提出されたアンケート・レポートから、「札幌ドームでの太陽光発電の仕組みや発電量などがわかり参考になった」「たくさんのパネルを使用しても得られる電力は多くないことにびっくりした」「気温の低い冬のほうが効果的に発電できるのは意外だった」「環境面でCO₂削減に貢献できて素晴らしいことだ」などの感想があった。



◎ローズガーデンちっぷべつ

ローズガーデンちっぷべつは、バラを中心とした花と緑の野外レクリエーション施設として、平成11年7月にオープンしました。総面積約5.4ha、バラの植栽面積約3,000平方メートルに300種類、3,000株のバラが咲き誇ります。また、バラグッズの販売や休憩のできる「バラの城ふろーら」、軽食や特産品も販売する「ガーデンプラザ・ウエル花夢」など楽しめる施設もあり、園内にはローズキャンドル作りなどが体験できる「ゆめポッケ」も開設しました。



◎観光体験牧場めえーめえーランド

観光体験牧場は、動物とのふれあいによる癒しの空間をテーマに、古くから町民に親しまれてきた羊文化の継承を目的とした体験及びふれあい型の観光施設となっています。在来する羊は、英国原産のサウスダウンなど世界の羊を飼育しており、約12haの敷地のうち約8haが放牧地となっています。



◎開基百年記念塔

100フィートのシンボルタワー展望室からは、360度町内が一望できます。また、鳴らす回数によって願い事が違うという「しあわせの鐘」が設置してあり、1回引くと恋愛成就、2回引くと金運上昇、3回引くと…。ご家族やお友達、カップルでお越し下さい。



【町からのお知らせ】

秩父別町交流体験農園なつみの里 ～農村で楽しく畑づくりをしてみませんか!!～

なつみの里には、滞在型と日帰り型の2タイプの市民農園があります。

滞在型には簡易宿泊施設が備えられ、豊かな自然の中で野菜づくりをしながら田舎暮らしを満喫することができ、日帰り型は、広い農地に好きな野菜や花を植え、そこに集る人たちとのふれあいを深めることができます。

毎年、年度末に次年度の利用者を募集しています。



お問い合わせ：役場企画課企画グループ

0164-33-2111

ホームページのアドレス

<http://www.town.chippubetsu.hokkaido.jp>



摩周湖といで湯のロマン～弟子屈町

弟子屈町長 徳永哲雄



本町は、東北海道のほぼ中心に位置する水と温泉が豊富で風光明媚な町です。

町内には、昭和6年に41.6mの透明度世界一記録した摩周湖、カルデラ湖としては日本一の面積である屈斜路湖、噴煙たなびく硫黄山、釧路湿原を育みダムがない釧路川などがあります。温泉も硫黄山を源とした強酸性の川湯温泉や屈斜路湖の周辺、摩周温泉など多く湧出していて、町内の様々なところに足湯を整備するとともに地熱を活用した事業も行われています。



本町の産業はこの自然を活用した観光業と畜産を中心とした農業です。また、屈斜路湖周辺や川湯地区では畑作も行われていて、昼と夜の寒暖の差を利用したおいしいメロンも収穫できます。

◆神秘的な町のシンボル「摩周湖」

摩周湖は、入る川も出る川もないのに水位がほとんど変わらない不思議な湖です。霧が多く発生することから「霧の摩周湖」と歌われ、「神秘の湖」とも言われます。透明度は、現在20～30m程度で推移していますが、今も国内では最高の透明度を誇ります。湖全体がカルデラ壁で囲まれていて、湖岸への立ち入りはできませんが、湖の周りの第1、第3展望台と清里町側の裏摩周展望台の3か所がビュースポットになっています。第1展望台から正面に見える標高858mの摩周岳は、片道4時間程度で登ることもできます。

◆屈斜路湖と釧路川

屈斜路湖は、美幌峠などからの眺望が有名ですが、摩周湖と対照的に湖岸で遊べる湖です。湖岸にある砂湯は、掘ると温泉が出るので即席の露天風呂が出来ます。和琴半島は、ミンミンゼミの生息地で、1時間程度のハイキングコースとしても人気です。湖の水質は酸性化して魚の住めない湖でしたが、最近魚種も増え、スポーツフィッシングを楽しむ人も多く訪れます。

この屈斜路湖を源としているのが釧路川です。長さは154kmで、釧路湿原を形成し、釧路市から太平洋に注いでいます。自然の蛇行も多く残っていることから多くのカヌー愛好家が本町を訪れます。また、手軽に体験させてくれるガイド業者も町内で活動しています。





◆2 daysエコパスポート

これらの名勝を列車やバスの公共交通機関で回ることができる交通実験を7月16日～10月10日の期間で行っています。このバスにはバイオディーゼル燃料を使用しており、環境にも優しいエコ交通の取り組みで今年度の国土交通大臣の表彰を受けています。2日間乗り放題のパスポート購入者には、無料のレンタサイクルや町内での飲食、買い物をした際の特典も準備されています。

◆本町の特産品と「たぶん日本で一番早い新そばまつり」



観光と並ぶ主要産業である農業のうち酪農業は、主に牛乳生産が中心で、町内の牧場では搾った牛乳を自家製ブランドとして生産・販売しています。また、アイスクリームも人気です。畑作では、じゃがいもや小麦のほか、輪作体系の一環で作っているそばが「摩周そば」のブランド名で販売されています。風味が良く生産量が少ないことから幻のそばとして、国内の蕎麦店や製粉業者などが取り扱っています。これを原料としたそば焼酎も作られています。毎年8

月の最終土日には「たぶん日本で一番早い新そば祭り」と題したイベントが行われ、多くの人が訪れます。

◆道の駅「摩周温泉」

道の駅摩周温泉は、今年7月に隣接地にあった建物を改修してリニューアルオープンしました。

ここでは、地域の特産品を紹介・販売するコーナー、観光情報のインフォメーションコーナー、地元出身の元横綱大鵬を紹介するコーナーや足湯、太陽光発電施設などがあります。

オープン以来大盛況で、駐車スペースが前より広がったにもかかわらず、車があふれるほど多くの観光客に訪れていただいています。



現場からこんにちは

工事名称：市立札幌病院精神科病棟増築
電気設備工事
発注者：札幌市病院局
請負者：北盛電設株式会社
場所：札幌市中央区北11条西13丁目1-3
工期：平成23年4月～平成24年2月
規模：精神科病棟 RC造 一部S造 地上4
階塔屋1階 延べ床面積 約3,020.26
m²
(うち渡り廊下13.6m²)の増築及び既
存病棟の改修に伴う電気設備工事
病床数：38床(個室17床、4床室16床、保護室
5床)

設計管理：塚田設備管理株式会社

《 工事概要 》

I. 精神科病棟(増築) II. 渡り廊下棟(増
築) III. 本院棟(改修) IV. 屋外に係る、
受変電設備・幹線設備・動力設備・電灯設備・自
動火災報知設備・拡声設備・テレビ共聴設備・構
内配電線設備・構内交換設備・ナースコール設
備・情報設備・ITV設備・インターホン設備・避
雷設備・監視設備・入退室管理設備・出庫警報設
備・ロードヒーティング設備



この工事は、市立札幌病院静療院(札幌市豊平
区平岸4条18丁目)で診療している精神科外来と、
一般閉鎖(身体合併症)病棟・一般閉鎖(急性
期)病棟の成人部門を市立札幌病院本院に統合す
ることにより、精神科三次救急(精神障害による
自傷・他害の恐れのある者の措置入院対象事例)
の拠点として、常時対応可能な精神科救急医療施
設機能を担い、民間の精神科病院では対応が難し
い身体合併症(がん、肺炎、糖尿病等を併発して
いる状況)を有する精神科患者に対応し、本院の
救命救急センター南側にセンターと緊密な連携を
図れるよう、新たに精神科病棟を建設しています。

施工は、増築棟新築工事と本院改修工事(既設
建物)に分かれています。増築棟新築工事は、
JR桑園駅・市立大学・保育園との間に建設され

る為、仮設用地が狭く、周辺は駐停車禁止場所
と隣接して救急センターが有るので車両の待機
等ができません。そこで、建・電・機の3社で
週一回の打合せ日を決め、外構作業と資材搬入
(大量品・重量物)は、2週間位前に事前協議
をし、週間工程表に反映させ、関係各所に連絡を
とり、互いの作業に支障が出ないように調整をとり
ながら施工しています。本院改修工事は、増築棟
と本院への渡り廊下新設工事があり、その部分は
講堂(大会議室)で毎日のように使用されるた
め、特に音・振動等の影響を考慮しながらの作業
となります。また、増築棟の電源は本院からの供
給なので、本院電気室の改修時には停電工事とな
る為、病院局と停電日などの工程打合せ・調整を
慎重に行わなければなりません。



8月末現在の状況は、外構工事の保育園高圧
ケーブルとサイン電源の切替工事が完了し、増築
棟の1階は建込配管、2階はスラブインサートと
スリーブの取付及びスラブ配管を行っています。
本院側では、既設部分の配管ルートの確認調査を
行っています。今後、増築棟では建築工程に合わ
せ、躯体工事、内装配管配線工事、機器取付、受
電(耐圧試験)、機器調整試験を行う予定です。
本院改修は、9月～11月で施工を完了する予定で
す。

来年2月の竣工に向けてこれからますますお忙
しくなることと思われませんが、無事故・無災害で
患者さんの役に立つ有益な病棟が完成することを
祈念しております。



現場代理人 三ヶ尻 嘉範 さん
取材 広報委員 井 草 貴 弘 (ダイダシ)
菊 地 大 (協信電気)

1級（実地）電気工事施工管理技術検定試験受験準備講習会



平成23年9月5日(月)、札幌市北区のセントラル札幌北ビルにおいて(一社)日本電設工業協会北海道支部と(財)地域開発研究所との共催による受験準備講習会を開催した。

この日の講習会には、学科試験に合格した67名が受講し、施工管理技士の資格取得に向けて、講師が説明する過去の出題傾向から、実際に記述するうえでの注意事項について勉強した。

本試験は10月16日(日)に行われ、合格発表は来年2月3日の予定。同試験に合格すると、1級電気工事施工管理技士の資格が得られ、建設業法に定められた営業所ごとに置く専任の技術者、工事現場に置く監理技術者として認められ、建設業法に

基づく経営事項審査において、資格者一人あたり5点が配点され、公共工事を受注する際の企業の技術力として評価されるなど重要な資格です。

受講生は、事前に購入していた「実地試験問題解説集」と、当日配布された過去の出題傾向と問題項目の資料をもとに熱のこもった講義が行われた。講師から、昨年の合格率は66.3%（1級実地全国平均）で、年々試験が難しくなっている現状説明があり、特に配点が高い施工経験記述では、具体的な現場経験の有無が問われるので、本人が実際に経験した工事をそのまま書くこと。文章が不得手な人は箇条書きがよい。などのアドバイスがあった。また、今年度の問題を予測するのは難しいが、労働災害、工程管理、施工管理、に関する解答を予め準備しておくこと。文章の構成も主語、述語の基本的な使い方など、日頃から簡潔にまとめるよう訓練が必要である。などを注意喚起して丸一日の講習会を終了した。

講習プログラム

時間	科目	講師
9：20～12：10 (2 H50M)	電気設備全般 法	(一)日本電設工業株式会社 常務取締役 山端 良幸
13：00～16：40 (3 H40M)	施工管理 施工経験記述指導	大成建設株式会社 札幌支店 札幌中央CSセンター 設備次長 小林 由嗣

厚生委員会行事報告

平成23年度 野球部会活動報告



会員の皆様いつもお世話になっております。日頃より、野球部会の活動にご協力をいただきまして有難うございます。本年度は、7月22日(金)「つど~む」にて会社対抗ソフトボール大会を開催致しました。参加チームは、昨年より2チーム減り5チーム（北弘電社、北海電気工事、北電力設備工事、橋本電気工事、JVチーム）となりましたが、全チームともファインプレーあり、珍プレーあり、アツと驚くミラクルプレーありの熱戦を繰り広げていただきました。

結果、優勝に輝いたのは他を寄せ付けないほどの圧倒的な強さを見せてくれた北弘電社チームがみごと4連覇を達成しました。準優勝は意外と言っても失礼ですがJVチーム（浅海・三共・末廣屋・でんこう・北盛・北海 順不同6社JV）でした「みよ~な元気良さと、声のでかさ」でJVチーム初の1勝をあげたと思いきや、なんと決勝まで勝ち上がり準優勝に、お見事でした。3位は北海電気チーム、4位は橋本電気チームとなり本大会を無事終えました。

参加頂いた全チームのみなさんお疲れさまでした、来年も参加頂き今大会以上の素晴らしいプレ



開会挨拶 関場 憲明（厚生委員会副委員長）

ーを期待しております。

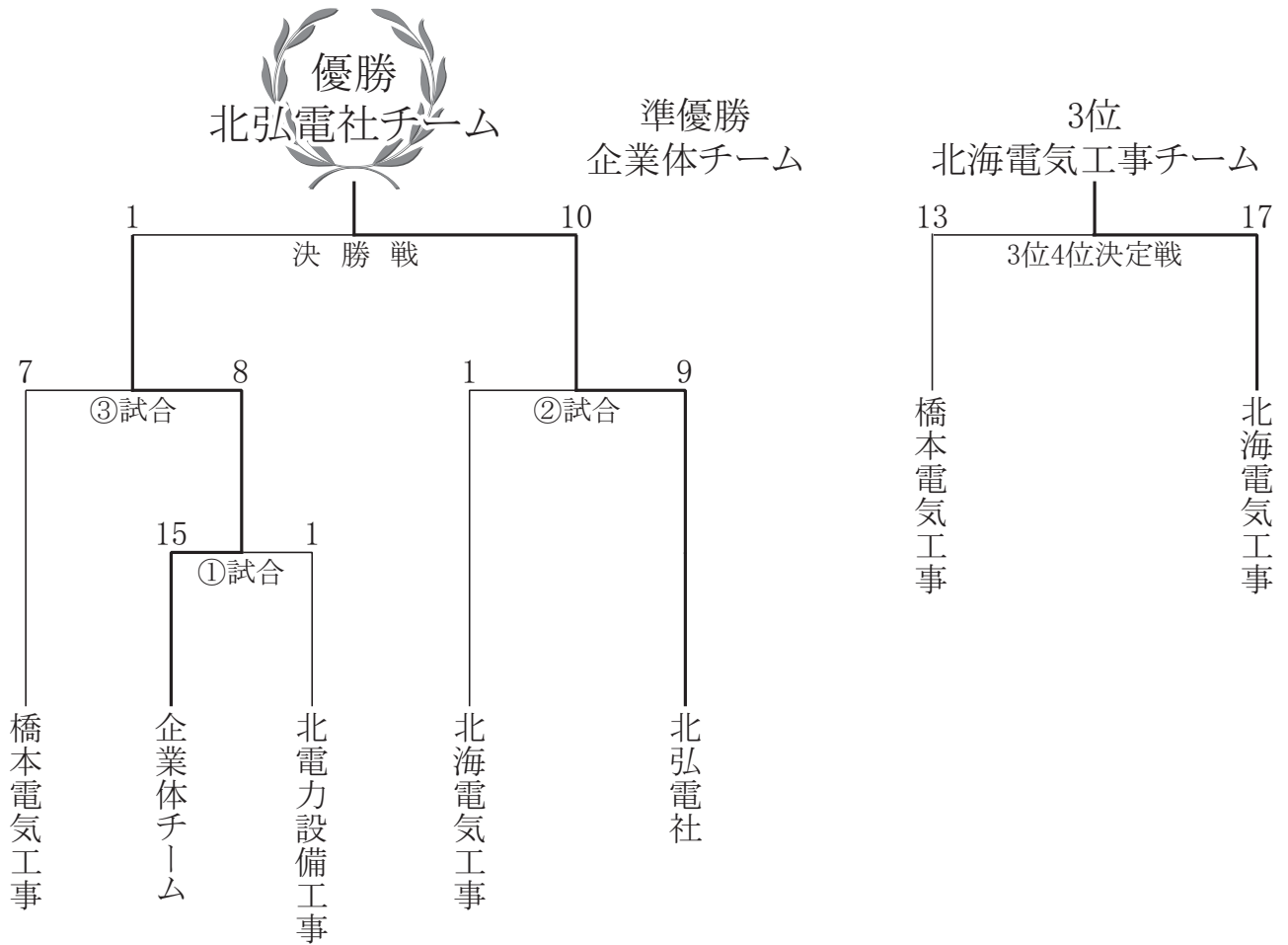
又、新たな単独チームの参加はもちろん1社から1名、2名での参加をいただければJVチームとして参加できますのでたくさんの個人参加をお待ちしております。

そして今年以上の参加チームにより大会が盛り上がりたと思っております。

最後に今大会も皆様のご協力によりケガもなく無事終えることができました事に、幹事一同深く感謝いたします。ご協力ありがとうございました。

野球部会幹事一同

成 績 表



優勝 北弘電社チーム



準優勝 6社 JVチーム
(浅海・三共・末廣屋・でんこう・北盛・北海)

平成23年度第1回・第2回開催ボウリング部会報告



第1回大会スタート前

6月24日(金)に平成23年度第1回ボウリング部会、8月26日(金)に第2回ボウリング部会を開催いたしました。第1回優勝者は末廣屋電機(株)の下屋敷さん。第2回優勝者は(株)北弘電社の太田さん。太田さんは昨年の第3回ボウリング部会でも優勝しており、正に貫禄の勝利でした。ボウリングが終わればそのままお馴染みのしゃぶしゃぶ屋へ。運動して火照った体をビールで冷やしつつ、懇親を深めておりました。

さて、ここでボウリング豆知識の話をしようと思います。

ボウリングで一番厄介なのは、なんと言ってもスプリット！皆さんも大事な場面でスプリットになってしまい、頭を抱えた経験が何度もあると思います。そのスプリット、ピンの残り方で名前があるのはご存じでしたか？

ここでは良くあるスプリットの呼び名を紹介しましょう。

・スネークアイ

スプリットの代表格、左右両端に1ピンずつ残る形です。左右に離れたピンが蛇の目に見える事からこの呼び名になったそうです。

この蛇に睨まれてミスしてしまう方も多いのでは？

・ビッグフォー

こちらも代表的なスプリット。左右両端2ピンずつの形です。残った4つのピンが何故か大き

く見える為こう名付けられたとか。

このビッグフォー、別名が数多くあります。その中でも4本のピンをロウソクに見立てたハッピーバースデーと言う呼び名は秀逸。パートナーの誕生日に出してみてもいかがでしょうか。

・インザダーク

残り1ピンに見えますが実は奥にもう1ピンある形。狙い通りで見事スペア！と思ったけど実は…なんて経験、あると思います。後ろのピンを暗闇にいるお化けに例えたのがこの名前の由来です。このインザダーク、正確にはスプリットではありませんが、良くある形と言う事で紹介しました。

他にも面白い呼び名は沢山ありますが、今回はこの辺で…

興味がある方は調べてみて下さい。

今年のボウリング部会、二回とも参加人数が20数名と若干少なめとなっております。

ラストとなる第3回ボウリング部会が10月21日に行われますので、是非皆さん奮って御参加下さい！

幹事一同、美味しいお酒と沢山の景品を用意してお待ちしております。

ボウリング部会幹事

藤井 大樹 (株でんこう) 記



第2回大会スタート前

平成23年度第1回
北海道電業協会ボウリング大会順位表

平成23年6月24日開催

順位	氏名	1G	2G	10ハンド	トータル	会社名
優	下屋敷 卓	124	171	37	369	末廣屋電機(株)
準	細野 隆平	112	95	79	365	橋本電気(株)
1	小原木 正弘	156	171	16	359	弘和電気(株)
2	中村 淳一	178	163	0	341	北海電気(株)
3	畑 澄人	107	160	37	341	北海道タツラ電気(株)
4	細井 正伸	140	159	20	339	北海電気(株)
5	猪股 貴則	149	179	2	332	末廣屋電機(株)
6	森崎 亨一	147	150	13	323	北盛電設(株)
7	最上 孝雄	166	129	14	323	北海電気(株)
8	木村 賢史	154	105	32	323	北海道タツラ電気(株)
9	吉岡 秀雄	105	146	36	323	弘和電気(株)
10	藤井 大樹	101	126	44	315	(株)でんこう
(ハイゲーム賞) 179ピン		猪股 貴則		末廣屋電機(株)		
(平和賞)		福田 哲也		大成電気(株)		
(大波賞) 41ピン		吉岡 秀雄		弘和電気(株)		
(小波賞) 3ピン		森崎 亨一		北盛電設(株)		
(ラッキー賞) 12位		十日市 樹		(株)北弘電社		
(飛び賞) 10位		藤井 大樹		(株)でんこう		
(飛び賞) 15位		太田 康智		(株)北弘電社		
(ブービー賞)		二宮 進		北海電気(株)		
(ブービーメーカー賞)		伊藤 寿教		三共電気(株)		

平成23年度第2回
北海道電業協会ボウリング大会順位表

平成23年8月26日開催

順位	氏名	1G	2G	10ハンド	トータル	会社名
優	太田 康智	170	192	5	372	(株)北弘電社
準	森崎 亨一	148	179	19	365	北盛電設(株)
1	福田 哲也	121	146	46	359	大成電気(株)
2	藤井 貴史	158	170	15	358	北海電気(株)
3	長谷川 政幸	173	145	13	344	北海道タツラ電気(株)
4	内川 勝哉	159	142	17	335	(株)北弘電社
5	最上 孝雄	144	138	23	328	北海電気(株)
6	木村 賢史	101	163	32	328	北海道タツラ電気(株)
7	細井 正伸	136	160	15	326	北海電気(株)
8	畑 澄人	137	133	25	320	北海道タツラ電気(株)
9	清水 希予志	98	96	60	314	北明電気(株)
10	橋本 佳明	125	159	12	308	橋本電気(株)
(ハイゲーム賞) 192ピン		太田 康智		(株)北弘電社		
(大波賞) 62ピン		木村 賢史		北海道タツラ電気(株)		
(小波賞) 7ピン		菅井 末行		旭日電気(株)		
(ラッキー賞) 8位		畑 澄人		北海道タツラ電気(株)		
(ラッキー賞) 9位		清水 希予志		北明電気(株)		
(ラッキー賞) 11位		二宮 進		北海電気(株)		
(飛び賞) 5位		最上 孝雄		北海電気(株)		
(飛び賞) 10位		橋本 佳明		橋本電気(株)		
(飛び賞) 15位		大塚 雅史		北盛電設(株)		
(ブービー賞)		田中 裕司		末廣屋電機(株)		
(ブービーメーカー賞)		高橋 健児		北明電気(株)		



第1回優勝者 下屋敷さん



第2回優勝者 太田さん



第3回大会スタート前

第3回ゴルフ会 平成23年7月21日(木) 札幌エルムCC 参加者27名

順位	氏名	会社名	OUT	IN	GROSS	HC	NET
優勝	橋本 佳明	橋本電気	48	51	99	28	71
準優勝	深田 哲	トーエネック	40	44	84	12	72
1位	中村 淳一	北海電気	45	43	88	16	72
2位	荒川 正一	札幌日信	46	44	90	18	72
3位	宮本 義之	サンエス電気	47	45	92	19	73
4位	佐久間忠信	北明電気	40	39	79	5	74
5位	豊 友祐	北札幌電設	43	45	88	14	74
6位	三井 尚	北明電気	48	45	93	19	74
7位	加藤 定義	北盛電設	48	49	97	23	74
8位	中鉢 征	三共電気	46	49	95	18	77
9位	枝並 秀喜	電業協会	43	45	88	10	78
10位	近藤 国男	東和電商	46	45	91	13	78

(特別賞)

B G 佐久間忠信 (北明電気)
 大 波 賞 小崎 洋 (拓北電業)
 小 波 賞 佐久間忠信 (北明電気)
 B B 賞 小崎 洋 (拓北電業)
 ラッキー賞 樋口 雄一 (関電工)
 N P 三井 尚 (北明電気)
 N P 中上 一民 (サンテック)
 N P 佐藤 修 (弘電社)
 N P 中村 好宏 (旭日電気)
 N P × 2 松浦 重男 (東邦電気)
 N P × 2 稲津 亘 (北盛電設)



第3回優勝者 橋本さん(左) 山口副会長(右)

第4回ゴルフ会 平成23年9月21日(水) 札幌芙蓉カントリー 参加者26名

順位	氏名	会社名	南	中	GROSS	HC	NET
優勝	住本 邦裕	道タツフ電気	38	38	76	6	70
準優勝	豊 友祐	北札幌電設	43	44	87	14	73
1位	三井 尚	北明電気	49	44	93	19	74
2位	石田 啓二	月寒製作所	44	41	85	9	76
3位	中上 一民	サンテック	42	44	86	10	76
4位	荒川 正一	札幌日信	51	44	95	18	77
5位	松原 一郎	北明電気	41	42	83	4	79
6位	中村 好宏	旭日電気	42	44	86	7	79
7位	川口 誠	エミヤ	50	47	97	18	79
8位	猪股 貴則	末廣屋電機	44	53	97	18	79
9位	中川 渉	道ジーエス・ユアサ	49	50	99	20	79
10位	加藤 定義	北盛電設	57	46	103	23	80

(特別賞)

B G 住本 邦裕 (道タツフ)
 平 和 賞 木村 賢史 (道タツフ)
 大 波 賞 山口 邦治 (山口電気)
 小 波 賞 佐藤 修 (弘電社)
 B B 賞 関戸 武勲 (岸野電気)
 ラッキー賞 庄田 修身 (データ電建)
 N P × 2 住本 邦裕 (道タツフ)
 N P × 2 三井 尚 (北明電気)
 N P 豊 友祐 (北札幌電設)
 N P 枝並 秀喜 (電業協会)
 N P 山口 勉 (山口電気)
 N P 関戸 武勲 (岸野電気)



第4回優勝者 住本さん(右) 山口副会長(左)

業界だより

○会員代表者の変更

- ・北盛電設(株) 平成23年4月1日付
(新) 代表取締役社長 稲津 亘
(旧) 取締役社長 中村 憲正
- ・東邦電気工業(株) 平成23年6月15日付
(新) 北海道支店長 松浦 重男
(旧) 〃 紺井 俊一
- ・(株)三新 平成23年6月24日付
(新) 代表取締役社長 渡辺 修
(旧) 〃 乙村 元夫

- ・(株)ドウデン 平成23年6月27日付
(新) 代表取締役社長 小笠原憲生
(旧) 〃 鷹觜 克夫
- ・北都電機(株) 平成23年6月27日付
(新) 代表取締役社長 松本 満
(旧) 〃 川野辺弘文

理事会・委員会報告

|| 理 事 会

◇平成23年8月23日(火) 12:00~13:30

第3回議題

【協議事項】

1. 役員会の日程(案)
2. 北海道開発局営繕部と電気・空衛両協会との意見交換会の開催

【報告事項】

1. 平成23年度会員大会の開催
2. 平成23年度会員調査へのご協力をお願い
3. 平成23年度北海道赤レンガ建築賞候補作品の募集
4. 平成23年度登録電気工事基幹技能者特例講習会の開催
5. 本部・支部事務連絡会議の概要
6. 平成23年度札幌市電気設備施工研修会の概要
7. 技術系学校先生・生徒との現場見学・懇談会の概要
8. 平成23年8月~9月行事予定
9. その他意見交換

|| 三 役 会

◇平成23年 7月11日(月) 12:00~13:30

第4回議題

1. 常設委員会の選任対応
2. 各委員会の平成23年度実施計画及び委員構成
3. 平成23年度安全大会の開催報告
4. 平成23年度北海道の建築工事に係る合同研修会の開催報告
5. 平成23年度札幌市電気設備施工研修会の開催
6. 建設業における構造改善推進懇談会の開催
7. 日本電設工業協会ホームページの会員サイトへの「支部・都道府県協会サイト」の設置
8. 会社代表者、法人職務執行者等の変更
9. 平成23年 7月~ 8月行事予定
10. その他意見交換

◇平成23年 8月 5日(金) 12:00~13:30

第5回議題

1. 役員会の日程 (案)
2. 平成24年度電設協の役員会等のスケジュール
3. 平成23年度会員大会の開催
4. 開発局営繕部と電気・空衛両協会との意見交換会の開催
5. 本部・支部事務連絡会議の概要報告
6. 平成23年度登録電気工事基幹技能者特例講習会の開催
7. 技術系学校先生・生徒との現場見学会及び懇談会の概要報告
8. 平成23年度札幌市電気設備施工研修会の概要報告
9. 平成23年度北海道赤レンガ建築賞候補作品の募集
10. 平成23年度会員調査へのご協力をお願い
11. 第36回(社)北海道建築士会全道大会(釧路)式典への対応
12. 平成23年 8月~ 9月行事予定
13. その他意見交換

◇平成23年 9月12日(月) 12:00~13:30

第6回議題

1. 本部第239回政策委員会の報告
2. 北海道開発局と電気・空衛両協会との意見交換会
3. 平成23年度経営者懇談会・セミナー開催要領(案)
4. 「公共建築の日」フェスティバル2011inモエレのイベントの協力依頼
5. 平成23年度登録電気工事基幹技能者特例講習会の開催結果
6. 札幌市公契約条例に係る意見交換会
7. 札幌電気工事業協同組合創立60周年記念式典・祝賀会への対応
8. 日本空調衛生工事業協会第18回全国会議懇親会への対応
9. 平成23年 9月~10月の行事予定について
10. その他意見交換

総務委員会

◇平成23年8月30日(火) 12:00~13:30

第2回議題

1. 平成23年度下期及び平成24年度上期の主要行事予定
2. 北海道開発局営繕部と電気・空衛両協会との意見交換会の開催
3. 技術系学校先生との電気設備見学会及び懇談会の概要報告
4. 平成23年度経営者懇談会・セミナー開催要領(案)
5. 電設協本部・支部連絡会議の概要報告
6. 平成23年度会員大会の開催概要
7. 一般社団法人に向けた規程類の整備
8. その他意見交換

経営委員会

◇平成23年7月13日(水) 11:30~12:30

第2回議題 (議長:水口副委員長)

1. 第1回議事録(案)の承認
2. 電設協第238回政策委員会の開催概要
3. 平成23年度北海道の建築工事に係る合同研修会の開催概要
4. 平成23年度札幌市電気設備施行研修会
5. 平成23年度分離発注状況調査報告
6. 北海道開発局営繕部と電気・空衛両協会との意見交換会の開催
7. その他意見交換

◇平成23年9月15日(木) 12:00~13:30

第3回議題 (議長:小畑副委員長)

1. 第2回議事録(案)の承認
2. 電設協第239回政策委員会開催概要
3. 平成23年度北海道の建築工事に係る意見交換会開催概要
4. 北海道開発局と電気・空衛両協会との意見交換会
5. 分離発注のための陳情要請活動

6. その他意見交換

広報委員会

◇平成23年9月26日(月) 15:00~17:00

第2回議題

1. 新春特集
2. 会報「冬号」編集方針
3. 会報「秋号」校正
4. その他意見交換

事務局日誌

- 7月4日(月)・北海道と電気関係4団体との建築工
事に関わる合同研修会
(電気会館大ホール)
- 8日(金)・本部238回政策委員会
(東京) 山口副会長
- 11日(月)・第4回三役会議
- 13日(水)・第2回経営委員会
- 20日(水)・札幌市電気設備施行研修会(電気会
館大ホール)
- 21日(木)・第3回ゴルフ部会
(エルムカントリー)
- 22日(金)・野球部会 会社対抗ソフト つどー
む
・本部常任理事会(東京)
吉川支部長
- 26日(火)・技術系学校先生との現場見学・懇談
会
- 28日(木)・本部、支部事務局長会議
(東京) 小川専務理事
- 8月2日(火)・技術系学校学生との現場見学
- 5日(金)・第5回三役会議
- 23日(火)・第3回理事会
- 26日(金)・平成23年度登録電気工事基幹技能者
特例講習会
(電気会館)
・第2回ボウリング部会
スガイノルベサ
- 30日(火)・第2回総務委員会
- 9月5日(月)・1級実地受験準備講習会
(セントラル札幌北ビル)
- 7日(水)・本部239回政策委員会
(東京) 山口副会長
- 9日(金)・野球部会
営業マン・ソフトボール
・本部運営委員会(東京)
吉川支部長
- 12日(月)・第6回三役会議
- 13日(火)・北海道開発局営繕部と電気・空衛両

協会との意見交換会

- (北海道設備会館)
- 15日(木)・第3回経営委員会
- 21日(水)・第4回ゴルフ部会
(札幌芙蓉CC)
- 22日(木)・本部運営委員会(東京)
・本部理事会(東京)
吉川支部長他
- 26日(月)・第2回広報委員会

編集後記

季節が過ぎるのも早いもので、「3.11大震災」から半年余りが経ちました。報道などを見聞きしながら感じますことは、多くの支援も受けながら、瓦礫撤去やインフラ復旧など着々と復興が進んでいる一方で、避難生活を強いられている人が依然8万人を超えており、また、原発事故も収束の目処が立たないなど、様々なものが「元どおり」になるには気の遠くなる時間がかかるという両極の想いがあります。

また、日本経済もここ数年は特に厳しい状況が続き、財政難に伴う公共事業の大幅削減と、それに依存してきた地方の「疲弊」はもともと限界に来ていたところでありました。そうした背景下での今回の震災で、今後の政治や経済の運営は、かつてないほど困難が伴うことが容易に想像されます。

秋号の発刊にあたり、北海道建設部建築局建築整備課、設備・環境担当課長の郷康則様より「環境に配慮した基盤の整備」と題し、北海道のこれから取り組み方について、巻頭言としてご寄稿いただきました。社会インフラの在り方、公共施設の長寿命化、防災対策、環境配慮、、、、そして、価格のみではないより良い入札制度の模索、また疲弊している中小企業の対策など、行政として多くの課題に取り組んでいただいているところと感謝申し上げます。

私ども電気設備業界としても、新しい時代に何が必要なのか、また、どう行動して行くべきなのか、真摯に考え、取り組んで行く必要があると感じます。そして、行政側と経済界側とが、双方の知恵をよく出し合って、より密接に連携して、新たな北海道を創って行ければ幸いです。今後ともよろしく願いいたします。

広報副委員長 伏木 淳



発行 平成23年10月
社団法人 北海道電業協会
札幌市中央区南1条東1丁目3番地
パークイースト札幌6階
TEL (011)271-2932
FAX (011)271-2952
E-Mail:dodenkyo@estate.ocn.ne.jp